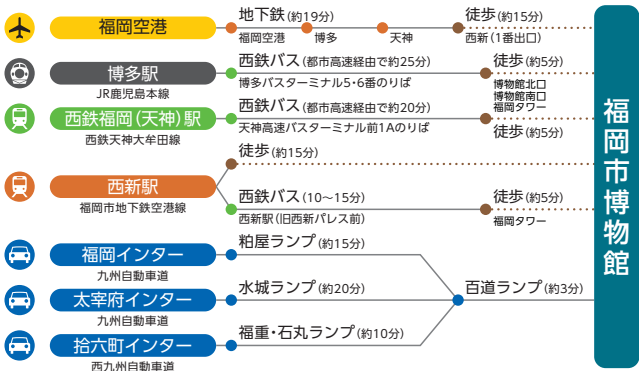


交通案内



展示室案内

- 常設展示室** 「FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと」をテーマとし、福岡の歴史と人びとの暮らしを紹介しています。
- 企画展示室** 歴史や文化に関するさまざまなテーマを設け、博物館収蔵資料や館外の文化財を展示します。4室あり、2か月程度で内容が替わります。
- 特別展示室** 日本や世界各地の歴史や文化に関する多種多様なテーマの展覧会を開催します。
- 体験学習室** アジア各地、九州のおもちゃや楽器、衣服、生活の道具などがあります。自由に手にとることが出来ます。

利用案内

**開館時間** 午前9時30分～午後5時30分まで(入館は午後5時まで)  
※7月26日(金)～8月25日(日)の金・土・日と8月12日(月・休)～15日(木)は午後8時まで開館(入館は午後7時30分まで)

**休館日** 月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日に休館)  
※8月12日(月・休)～15日(木)は開館し、8月16日(金)は休館  
 ※年末年始の休館日は12月28日(土)から1月4日(土)まで

**常設展・企画展観覧料(共通)** ※文化の日(11月3日)は常設展・企画展を無料でご覧いただけます。

区分	個人	20人以上の団体
一般	200円	1人につき150円
高・大生	150円	1人につき100円

※中学生以下無料  
 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(上記の手帳を提示された方の介護者1人を含む)及び、特定医療費(指定難病)受給者証、特定医療費受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、福岡市・北九州市・熊本市・鹿児島市で65歳以上が確認できるものをご提示の場合は無料。障害者手帳アプリ「ミライロID」も使用できます。

**福岡市博物館** Fukuoka City Museum

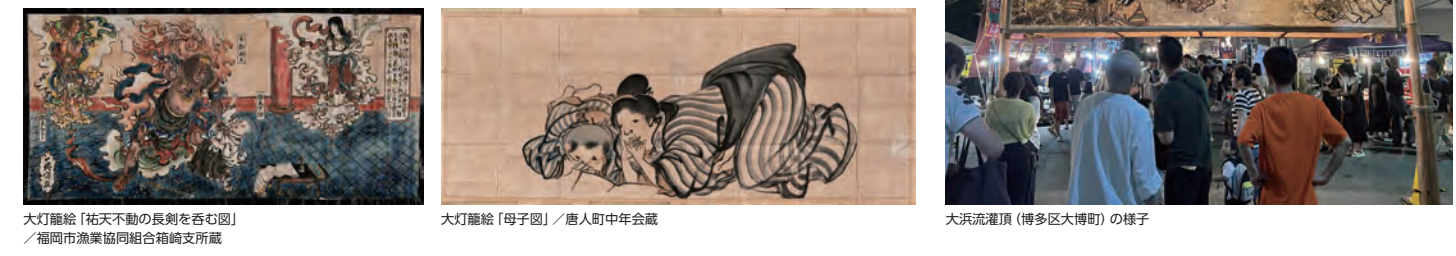
〒814-0001  
 福岡市早良区百道浜3丁目1-1  
 ☎092-845-5011 ☎092-845-5019  
<https://museum.city.fukuoka.jp>

	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月
<b>特別展示室</b>	大灯籠絵 11.4(月・休)		11.23(土・祝)	九州真宗の源流 1.26(日)		2.8(土) 民藝 MINGEIー美は暮らしのなかにある ~4.6(日)
<b>常設展示室</b>	FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと					
<b>企画展示室 1</b>	石里洞秀 10.8(火)	第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 12.22(日)				1.5(日) 民具と生活ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー ~4.13(日)
<b>企画展示室 2 (黒田記念室)</b>	墨蹟	黒田家重宝・家宝の如水・長政像 11.4(月・休) 11.6(水) 黒田家伝来の刀装具 12.27(金)				1.5(日) 国宝 刀 名物「圧切長谷部」 2.2(日) 2.4(火) 国宝 太刀 名物「日光一文字」 3.2(日) 3.4(火) 福岡藩主夫人の文芸作品 ~4.6(日)
<b>企画展示室 3</b>	ふくおかの はにわ	第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 12.22(日)				1.5(日) 民具と生活ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー ~4.13(日)
<b>企画展示室 4</b>	庚寅銘大刀					

秋季～冬季の特別展のご案内

特別展示室 9.13(金)～11.4(月・休)

**大灯籠絵**  
 博多湾沿岸の地域では、町内の寺社の夏季大祭に際し、大きな和紙(約2m×4m)に武者絵などを描き、それを木枠に貼り付けた灯籠をつくり、道辻に掲げる風習があります。地域の人々は、この巨大な絵を「大灯籠絵」、灯籠のことを「大灯籠」と呼び親しんできました。大灯籠は、神仏に奉納するあたりであると同時に、参拝者に非日常的な心情を引き出させるディスプレイでもありました。本展は、福岡市内に伝わった大灯籠絵約60点を通して魅力ある地域の文化財を紹介します。



特別展示室 11.23(土・祝)～1.26(日)

九州真宗の源流

親鸞によって開かれた浄土真宗は、親鸞が念仏の教えを説き広めたことにより全国各地に広がりました。本展覧会では、九州各地に残る浄土真宗寺院の法宝物を一堂に展覧し、その教えがどのように九州へ伝わり広まってきたかを紹介いたします。

親鸞聖人絵像 真教寺蔵

秋季からの企画展のご案内

企画展示室 1・2・3・4 10.8(火)～12.22(日)

**第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし**  
 福岡市博物館は、皆さまからの寄贈・寄託や購入によって多彩な資料を収集しています。本展では、令和3年度に収集し、整理と調査を終えた、考古・歴史・美術・民俗の各分野にわたる資料を、一堂に集めて公開します。



企画展示室 1・2・3・4 1.5(日)～4.13(日)

民具と生活

ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー

民具(生活用具)は暮らしに適した形で設計され、生活を彩る意匠が施されます。民具の形や素材、意匠などに着目し、生活と民具の関係を紹介します。

(左2点) 線黒軸掛分皿 因幡牛ノ戸 1931年頃  
 (右) 蠟石製薬煎 朝鮮半島 朝鮮時代 19世紀  
 いずれも日本民藝館蔵 Photo: Yuki Ogawa

イベントのご案内

福岡ミュージアムウィーク 2024 5.18(土)～5.26(日)

5月18日の「国際博物館の日」にあわせて開催する、福岡市内のミュージアムをお得に楽しむ9日間。期間中、福岡市博物館の常設展示室・企画展示室の観覧料が無料になります。※イベントの詳細はホームページ等でお知らせします。

トワイライトミュージアム 7.26(金)～8.25(日)

期間中の金・土・日と8月12日(月・休)～15日(木)は午後8時まで開館時間を延長します。(入館は、午後7時30分まで)

常設展ギャラリーートーク

2階常設展示室内にて、学芸員が展示資料について解説します。事前予約不要、参加費無料です(常設展示室の観覧料は必要です)。

※詳細はホームページ・SNS等でお知らせします。

**国宝 金印「漢委奴国王」**

年に8回開催予定。常設展示室に常時展示している国宝の金印について解説します。

**テーマでめぐる常設展**

年に4回開催予定。広報誌「Facata」の特集「テーマでめぐる常設展」でとりあげた資料を中心に、展示室を案内します。

**みんなのミュージアム**

金印のレプリカをつかった封泥体験などのイベントを開催します。  
 ※詳細はホームページ等でお知らせします。